

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート

目次

1. みえ森と緑の県民税基金積立金事業	2
2. 災害に強い森林づくり推進事業	3
災害緩衝林整備事業	
土砂・流木緊除去事業	
3. 森を育む人づくりサポート体制整備事業	5
4. みえ森と緑の県民税市町交付金事業	6
対策1 土砂や流木を出さない森林づくり	
対策2 暮らしに身近な森林づくり	
対策3 森を育む人づくり	
対策4 木の薫る空間づくり	
対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり	
5. みえ森と緑の県民税制度運営事業	12

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成27年 7月 1日
	中間	平成28年 2月 1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成25年度	
事業名	みえ森と緑の県民税基金積立金事業					
基本方針区分	-					
対策区分	-					
予算額等	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額(円)	42,074,000	797,000,000	1,054,026,000		
	決算額(円)	34,466,475	677,563,506 (ほか市町基金積立 31,351,321)			
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進する施策に要する経費の財源に充てるため、みえ森と緑の県民税の税込に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。					
事業目標	-					
事業内容	平成27年度のみえ森と緑の県民税の税込に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。					

【中間進捗】

中間進捗状況
積立てた基金を財源として各種事業を実施し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進しています。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部治山林道課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	災害に強い森林づくり推進事業のうち、災害緩衝林整備事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	343,982,000	521,151,000			
	決算額(円)	300,333,212				
事業の目的	崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流沿いの森林等において、土砂や流木の発生・流出に対して緩衝効果を発揮する森林の整備を行います。また、それらの事業投入によってどの程度の効果があるのかを明らかにするために、科学的な視点での研究・調査を実施します。					
事業目標	実施箇所数：41箇所					
事業内容	崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流沿いの森林において、土砂や流木の発生・流出に緩衝効果を発揮する一定幅の森林について調整伐等を実施し、緩衝機能を高める森林整備を行います。 1 事業実施 (1)溪流内の倒木や枯損木、根の浮き上がった木、劣勢木等、流木の発生源となる危険木の伐採 (2)溪流沿いの立木における調整伐 (3)伐採木の山腹斜面での土砂止め等への利用、又は林外への搬出 2 事業の効果検証にかかる調査・研究（林業研究所及び大学との共同研究） 3 次年度実施候補地にかかる実施計画の作成					

【中間進捗】

中間進捗状況	昨年度から森林所有者の土地使用承諾取得に取りかかるなど、早期発注に取り組んだ結果、37箇所を1月末現在で契約し、そのうち13箇所が完成しました。 2月以降に8箇所の契約を予定しており、全体で45箇所の整備を進めています。
--------	---

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量 実施箇所数(箇所)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部治山林道課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	災害に強い森林づくり推進事業のうち、土砂・流木緊急除去事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	102,529,000	116,092,000			
	決算額(円)	77,055,883				
事業の目的	崩壊土砂流出危険地区流域内に異常堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与えるおそれのあるものについて、除去を行います。					
事業目標	実施箇所数：8箇所					
事業内容	崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流の集水区域内において、溪流内や治山施設に異常堆積した土砂や流木について、搬出・除去を行います。 (1)溪流内や治山施設等に異常堆積した土砂や流木等の搬出・処理 (2)必要に応じて簡易施設、土捨場等の設置					

【中間進捗】

中間進捗状況
5箇所を1月末現在で契約し、そのうち2箇所が完成しました。 2月以降に1箇所の契約を予定しており、全体で6箇所の整備を進めています。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量 箇所数(箇所)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	森を育む人づくりサポート体制整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	10,812,000	16,500,000			
	決算額(円)	10,243,655				
事業の目的	「県民全体で森林を支える社会づくり」に資する取組として「森を育む人づくり」を進めるため、森林環境教育や森づくり活動に取り組みやすい環境を整備し、みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により地域や学校等で行われる当該取組にかかる活動を促進します。					
事業目標	(1)市町・学校等の取組のサポート：随時 (2)指導者・活動者の育成：研修の開催 12回 (3)小学校教科書副読本の作成・配布：県内の小学5年生全児童への配布 1万6千部以上					
事業内容	みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により地域で行われる森林環境教育や森づくり活動等をサポートする基本的な業務を行なうとともに、サポートセンターの設置準備を進めます。 1. 森林環境教育体制整備 学校や地域での森林環境教育の取り組みが促進されるよう、指導者の技術力向上のための支援や体制づくり、学校等での活用が可能な教材の作成等を行います。 2. 森づくり活動体制整備 森づくりに取り組む県民や団体が増えるなか、森林整備の正しい知識や事故防止のための安全教育が必要となっているため、それらについての研修を開催するほか、必要に応じて道具の貸し出し等を行います。					

【中間進捗】

中間進捗状況
森林環境教育指導者養成講座を開催しました。また、指導者「森のせんせい」のネットワーク構築と学習拠点施設の設置に関する意見徴収のため、座談会を県内7か所で開催しました。学校からの要望に応じ、出前講座を8校で実施しました。また、夏休み期間中に子ども写真教室を開催するとともに、第2回みえの森フォトコンテストを開催しました。森づくり活動参加者向けの刈払機安全衛生講習等を行いました。新たに未就学児や小学校低学年の児童を中心とした木育への取組を始めるため、木育シンポジウムを開催しました。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量	研修等の実施(回)	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり 2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	268,600,000	395,250,000			
	決算額(円)	232,453,119 (ほか市町基金積立 31,351,321)				
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29市町					
事業内容	<p>地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。</p> <p>1. 土砂や流木を流さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり</p> <p>交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
29市町で104事業（ほか基金積立8事業）が計画されています。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)		
事業量	取組市町数(市町)	
	取組事業数(事業)	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分1：土砂や流木を出さない森林づくり）					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	5,844,000	-	-	-	-
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29市町					
事業内容	<p>地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。</p> <p>1. 土砂や流木を流さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり</p> <p>交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
全2事業のうち、2事業が実施中であり、着手率100%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分2：暮らしに身近な森林づくり）					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	105,728,400 （ほか基金積立 7,134,903）	-	-	-	-
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29市町					
事業内容	<p>地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。</p> <p>1. 土砂や流木を流さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり</p> <p>交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
全35事業のうち、7事業が完了し21事業が実施中であり、着手率80.0%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分3：森を育む人づくり）					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	37,198,769 （ほか基金積立 1,210,000）	-	-	-	-
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29市町					
事業内容	<p>地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。</p> <p>1. 土砂や流木を流さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり</p> <p>交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
全25事業のうち、7事業が完了し17事業が実施中であり、着手率96.0%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分4：木の薫る空間づくり）					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	4. 木の薫る空間づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	72,750,950 （ほか基金積立 20,632,418）	-	-	-	-
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29市町					
事業内容	<p>地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。</p> <p>1. 土砂や流木を流さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり</p> <p>交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
全32事業のうち、7事業が完了し25事業が実施中であり、着手率100%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	平成27年	7月 1日
	中間	平成28年	2月 1日
	実績	平成	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり）					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	10,931,000 （ほか基金積立 2,374,000）	-	-	-	-
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29市町					
事業内容	地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 1. 土砂や流木を流さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり 交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。					

【中間進捗】

中間進捗状況
全10事業のうち、3事業が完了し6事業が実施中であり、着手率90.0%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成27年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成27年 7月 1日
	中間	平成28年 2月 1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成27年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税制度運営事業					
基本方針区分	-					
対策区分	-					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	16,068,000	5,030,000			
	決算額(円)	9,466,302				
事業の目的	「みえ森と緑の県民税」の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知、みえ森と緑の県民税評価委員会の運営、みえ森と緑の県民税を活用した事業の実績データの管理等を行います。					
事業目標	みえ森と緑の県民税評価委員会の円滑な運営 平成27年度委員会開催回数：3回以上					
事業内容	<p>(1) みえ森と緑の県民税評価委員会の運営ほか みえ森と緑の県民税を活用した事業結果等について調査審議する「みえ森と緑の県民税評価委員会」を運営するほかリーフレットなどにより事業結果を県民に周知します。</p> <p>(2) みえ森と緑の県民税関連データ管理 みえ森と緑の県民税関連の県営事業及び市町交付金事業の実績等を管理するため、台帳管理やデータの整理等を行います。</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
<p>県民の皆さんに税の活用成果を広く周知するため、過年度の事業結果を掲載したリーフレットを作成し、市町等に配布するとともに、スーパーに配架しました。「平成26年度事業成果発表会」を開催し、当該税を活用した事業の成果を市町担当者と共有しました。</p> <p>「みえ森と緑の県民税評価委員会」を開催し、同委員会から平成25,26年度基金事業に対して三重県知事あてに答申いただきました。</p>

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量	委員会の開催(回)	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。